

# 離島ユニバーサルサービスについて

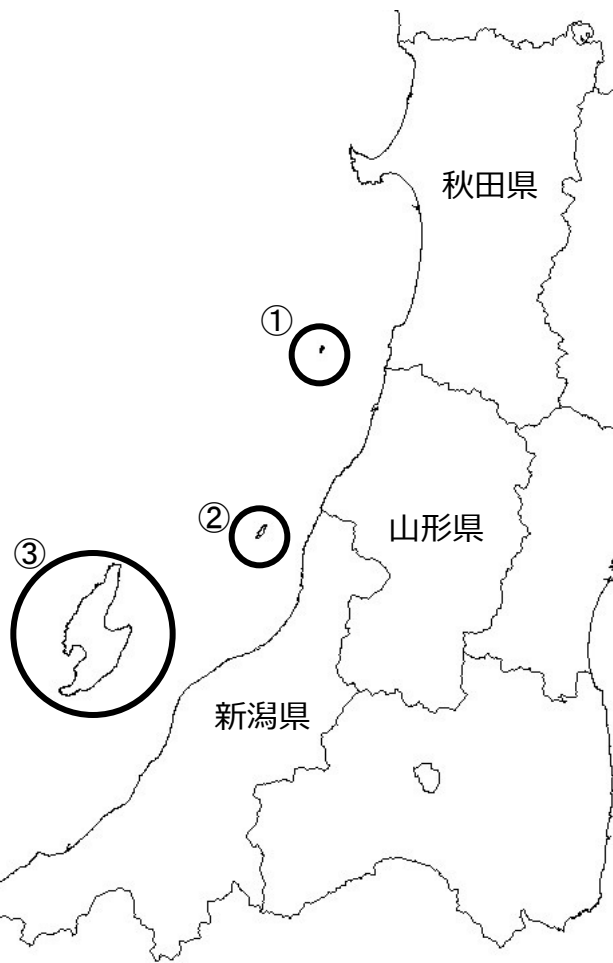
平成27年10月22日（木）

東北電力株式会社

# 離島ユニバーサルサービス対象離島の概要

- 平成28年4月以降，一般送配電事業者に離島への供給義務が課せられることに伴い，エリア内の他の地域と遜色のない料金水準で離島への電気の供給を行うため，離島供給に係る費用から離島に係る料金収入を差し引いた離島ユニバーサルサービス（US）に係るコストを算定したうえで，託送料金原価に反映しました。
- 当社のユニバーサルサービス対象離島は，飛島，粟島，佐渡島の計3箇所です。

## 【当社供給エリアにおけるユニバーサルサービス対象離島】



	島名	所在県	人口	発電設備
①	飛島 (とびしま)	山形県	約200人	【内燃力】 飛島火力 (750kW)
②	粟島 (あわしま)	新潟県	約400人	【内燃力】 粟島火力 (960kW)
③	佐渡島 (さどしま)	新潟県	約60,000人	【内燃力】 両津火力 (53,000kW) 相川火力 (27,500kW) 【水力】 白瀬水力 他5箇所 (計1,652kW)

# 離島供給費の算定

- 離島供給に係る費用の特定については、以下の手法により行っております。
1. 発生の主な原因に応じて離島供給費・離島供給費以外に直課可能な額を先取り
  2. 残余（直課できない分）は、配分比率を用いて整理

## 【離島供給費の算定（例．火力発電費）】

区分	費目	配分比率
①離島直課	燃料費，廃棄物処理費，消耗品費，修繕費，賃借料，損害保険料，固定資産税，固定資産除却費 等	—
②配分	人件費，消耗品費，修繕費，補償費，賃借料，委託費，損害保険料，養成費，研究費，諸費，固定資産税，雑税，減価償却費，固定資産除却費 等	発電設備の建設費比 等

- 各費目に対して適用する抽出比率の考え方は，託送料金算定規則の配賦基準・活動帰属基準を準用した。
- 離島直課と比率抽出に重複している費目（消耗品費，修繕費等）は，件名等により直課可能な部分を直課し，残余を配分比率により整理している。
- 水力発電費，新エネルギー等発電費，販売費についても同様の考え方により特定。

## 【離島供給費の算定結果】

（単位：百万円）

	直課額	配分額	合計	内訳等
燃 料 費	4,505	—	4,505	—
設 備 関 係 費	2,100	698	2,797	修繕費，減価償却費等
他 社 購 入 電 力 料	1,517	—	1,517	—
人 件 費	—	265	265	給料手当，厚生費等
そ の 他 経 費	481	255	736	委託費，廃棄物処理費等
合 計	8,603	1,218	9,820	—

※数値は平成25年度～平成27年度平均。  
 ※端数処理の関係で、合計が一致しない箇所があります。

# 離島供給に係る電灯料・電力料の算定

- 離島供給に係る電灯料および電力料（基準託送供給料金に相当する額（以下「NW収入」）を除く。以下「離島非NW収入」）については、「エリア全体改定収入」に、「エリア全体実績収入」に占める「離島実績収入」の割合を乗じることにより算定いたしました（改定収入，実績収入ともにNW収入を除く）。

## 【離島供給に係る電灯料および電力料の算定】

### <算定式>

$$\text{離島非NW収入} = \frac{\text{エリア全体改定収入}^{\ast}}{\text{(NW収入を除く)}} \times \frac{\text{平成26年度離島実績収入 (NW収入を除く)}}{\text{平成26年度エリア全体実績収入 (NW収入を除く)}}$$

※原価算定期間（平成25年度～平成27年度合計）の改定収入

### <算定内容および算定結果>

(単位：百万円)

	エリア全体改定収入 (NW収入を除く)	平成26年度実績収入 (NW収入を除く)		離島非NW収入 (原価算定期間合計)	
		離島	エリア全体		
	①	②	③	①×(②/③)	
電灯料	電灯	1,052,647	1,992	329,422	6,366
	計	1,052,647	1,992	329,422	6,366
電力料	動力	145,914	537	62,697	1,250
	高圧	1,267,297	1,773	414,881	5,415
	特高	659,841	66	208,306	210
	計	2,073,052	2,376	685,883	6,875
合計	3,125,699	4,368	1,015,306	13,241	

平成25年度～平成27年度平均

4,414百万円

※実際の計算は、年度ごと、単価区分ごとに算定しており、その結果を記載しているため、計算結果が一致しない場合があります（①×②/③の計算過程）。

※実際の計算は、千円単位で行っており、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

# 託送料金原価への影響

- 離島ユニバーサルサービスの託送料金原価への影響額は+54億円（+0.07円/kWh）の増となりました。

## 【離島USに係るコストの託送料金原価への織込み】

(単位：億円, 円/kWh)

	前回[1]	今回[2]	影響	
			原価[3]=[2]-[1]	単価 =原価[3]/800億kWh
離島供給費 A	—	98	98	0.12
離島に係る料金収入 B	—	44	44	0.05
計 A-B	—	54	54	0.07

※数値は平成25年度～平成27年度平均

## 【離島USに係るコストの原価算入イメージ】

### 【離島】

### 【託送料金原価】

